



4月18日に、5・6年生みんなで育苗箱の中に温かい布団のように丁寧に土を敷いて、種粃を撒きました。支援員さんに協力していただいて作ったプール育苗ハウスの中に運び、数日後に苗箱の下に敷いたシートをはずす頃には、小さな芽がびっしり出ていました。稲作で手のかかるのは苗作りだそうです。5月の連休中も交代で水をやり、ビニールシートのかけはずしを行い、田植えの頃には青々としたよい苗に育ちました。



4年生は、ジャガイモを植えました。半分に切ったジャガイモをそのまま植えること、水をやらなくていいことを知ってびっくりしていました。支援員さんに畝をつくっていただき、まっすぐ、同じ間隔で種芋を植えました。夏休みの後の草むしりが大変でしたが、たくさん収穫したジャガイモで、カレーを作って、おなかいっぱい食べました。

他に、小豆も育て、作ったあんこは、自然の味がして今まで食べた中で一番おいしいあんこでした。



10月10日に5・6年生で稲刈りをしました。6年生は2度目、5年生は初めてかまで稲を刈りましたが、だんだん上手になりました。今年も昨年に続いて、コシヒカリを作りました。たくさんの稲をかかえてコンバインに運び、落ちている稲も丁寧に拾いました。収穫祭ではおにぎりを作り、支援員さんを招待して、みんなで新米を味わいました。

下級生にも、小さなおにぎりを作って食べてもらいましたが、おいしい、と好評でした。



3年生は大豆を育てました。まっすぐに引いた紐に添って、赤く色をつけた豆を播きました。

収穫した大豆は、乾くまで干しておきました。痛んだ大豆を丁寧に取り除き、フライパンで煎って、石臼で碾いて、きな粉にしました。餅米を蒸してボウルに入れ、すりこぎ棒でつぶして餅にし、作ったきな粉をつけて食べました。豆の香りがしてとてもおいしいきな粉餅でした。4年生の作ったあんこもいただき、あんこ餅も食べられてよかったです。